

スタジアム標準 サッカースタジアムの建設・改修にあたってのガイドライン

- ◎原則的に必ず設置する事項 #クラスS=40,000人以上、FIFAワールドカップ、AFCチャンピオンズリーグ、日本代表戦、J1
- 設置すべき事項 #クラス1=20,000～40,000、AFCチャンピオンズリーグ、日本代表(OP)、J1
- ▲設置を推奨する事項

	諸機能	要件	クラス別対応		
			クラスS		クラス1
			国際	新設	既設

1) 交通関連 諸施設チェック表

交通関連	諸機能	要件	クラス別対応		
			クラスS	クラス1	既設
交通関連	スタジアムへのアクセス	鉄道・地下鉄など複数の公共交通利用	◎	○	▲
		幹線道路からのアクセスの利便性	◎	○	▲
		歩行者動線の安全性、快適性の確保	◎	○	▲
	一般入退場待機スペース	入場前の待機スペース	◎	◎	○
		照明設備、電源、場内放送システム、トイレ 入場券売り場の設置	◎	◎	◎
	チームの動線確保	一般観客、報道関係者動線との分離	◎	◎	○
		更衣室・ウォームアップエリア・フィールド間の動線	◎	◎	○
		担架等の通行に支障のないスペース	◎	◎	○
		スパイクでも滑りにくい床材	◎	◎	○
	報道関係者の動線確保	フィールドに入る部分の安全確保	◎	◎	○
チーム・一般観客・VIP動線との分離		◎	◎	○	
メディア作業エリア間の動線確保		◎	○	▲	
VVIP対応の動線確保	機材用の関係諸室アクセス	◎	◎	○	
	セキュリティレベルの高い経路	◎	◎	▲	
VIP対応の動線確保	VVIP車寄せ・専用動線	○	○	▲	
	専用のVIP入口の設置	◎	◎	○	
フィールドへのアクセス	専用動線	○	○	▲	
	ピッチ周辺までの車両通行路の確保(フィールド管理車両も利用)	◎	◎	○	
駐車場	一般及び身障者用	ピッチ周辺までの車両通行路の確保(フィールド管理車両も利用)	◎	◎	○
		照明やスタジアムへのサイン看板などの設置	○	○	▲
		身障者用との兼用可	○	▲	▲
	メディア用	入場口付近に身障者用スペースを確保	◎	◎	○
		専用駐車場の確保	○	○	▲
	テレビ中継車両用	機材の搬出入を考慮し、メディア作業エリアに近い場所に配置	○	○	▲
	VIP・VVIP用	専用駐車場の確保、地盤補強	◎	◎	◎
		専用駐車場の確保	◎	◎	◎
チーム用	VIP席数に対応した十分なスペースの確保	◎	◎	◎	
	更衣室に直結した専用の駐車場の確保	◎	◎	◎	
緊急車両用	大型2台、乗用車3～4台	◎	◎	◎	
	救急車など	◎	◎	◎	
サービススタッフ用		◎	◎	◎	

2) フィールド関連 諸施設チェック表

フィールド関連	諸機能	要件	クラス別対応			
			クラスS	クラス1	既設	
フィールド関連	ピッチ	ピッチサイズ	長さ:105m、幅:68m	◎	◎	◎
		芝面	サッカースタジアム	長さ:115m以上、幅:78m以上 ※ピッチの外側に向かって5m以上必要	◎	◎
	フィールドの向き	多目的	長さ:108m以上、幅:71m以上	◎	◎	○
		太陽の位置や日常の風向きを考慮して決定		◎	◎	◎
	フィールドの状態	平坦で水はけが十分であること		◎	◎	◎
		天然芝がピッチ全面を覆っていること		◎	◎	◎
		年間を通じて常緑であること		◎	◎	◎
	設備等	ゴール	白色・丸型(直径12cm)、固定方法	◎	◎	◎
			埋め込み式	◎	◎	◎
			予備のゴール	◎	◎	◎
ゴールネット		(ゴールネット)ボールを反発する補強材を使用しないで取り付けるもの	◎	◎	◎	
ベンチ	透明な屋根付き13名以上。固定式。第4の審判員ベンチ設置	◎	◎	◎		
フィールド内広告看板	高さ:90～100cm	22名	13名	13名		

	諸機能	要件	クラス別対応			
			クラスS		クラス1	
			国際	新設	既設	
3) 試合関係者関連						
試合関係者関連	チーム	チーム更衣室	4室又は2室・120㎡以上	◎	◎	○
		監督室		◎	◎	○
		ウォームアップエリア	芝生を敷設(人工芝も可)2か所設置	◎	◎	○
	運営進行	運営本部室	机、椅子、空調設備、電源、電話回線を設置 200㎡以上	◎	◎	◎
		場内放送システム	スタジアム内外の放送システムを設置	◎	◎	○
			緊急事態発生時に非常用放送ができること	◎	◎	○
			運営本部から割り込みできること	◎	◎	◎
		記録室	机、椅子、モニター、電話 ピッチ全体を見渡せる場所	◎	◎	○
		コミッションルーム	デスク、椅子、ロッカー、電話(外線/内線)	◎	○	▲
		審判更衣室	4名収容可能な部屋2室	◎	◎	○
		医務室	本文を参照	◎	◎	◎
		ドーピングコントロール室	本文を参照	◎	◎	◎
		予備室		○	○	▲
		試合関係者入口		◎	◎	○
		倉庫・予備室		◎	○	▲
掲揚ポール	フラッグを掲示できる設備の設置	◎	◎	○		
		5旗	5旗	3旗		

4) メディア関連

メディア関連	記者席等	記者席	本文を参照	400席	120席	120席
		中継用実況放送室	本文を参照	◎	◎	○
	会見等	記者室(兼カメラマン室)	フォトグラファー兼用の記者室の確保	400㎡	200㎡	200㎡
			男女用のトイレの設置	◎	◎	◎
		記者会見室	デスク、電源、電話、事務機器など 設置(記者室との併用可能) 舞台、音響システム	◎	◎	○
	ミックスゾーン		◎	◎	○	
	多元放送	本文を参照	◎	◎	○	
	一元放送	本文を参照	◎	◎	○	
	テレビカメラ	<p>■テレビ中継関連カメラ設置スペース:メインスタンド中央部4台分(4㎡×4台) 両ゴール裏スタンド中央部2台分(4㎡×2台) メインスタンド側パネルエリアを囲むラインのうちゴールラインと平行なライン付近各1台分(4㎡×1台×2箇所) 常設:専用スペース</p> <p>■テレビニュース関連:ENGカメラ設置スペース。(ENG)メインスタンド中央部10社分(4㎡×10社)</p> <p>■カメラスペース:メインスタンド中央部に10社分(4㎡×10社)のスペース</p> <p>■ケーブル設置スペース:中継車とカメラおよび放送ブース間</p> <p>■伝送用機材等(アンテナ/アンテナ搭載車両/光ファイバー用端末)設置スペース。スタジアムからテレビ局および中継基地へ試合中継映像を伝送するために必要な以下の機材を設置するためのスペース。テレビ局および中継基地への伝送するためのアンテナ。衛生へ伝送するためのアンテナ搭載車両。光ファイバー用端末。すべて備わっていることが絶対条件ではないが、いずれかは1つは必須)</p>				
	スチームカメラ	駐車スペース		◎	◎	○
		控室		◎	◎	○
		個人ロッカー		○	○	▲
		ピッチ上電源とモジュラージャック		○	○	▲
		フォトグラファーポジション後方の1.5mスペース		◎	◎	○

	諸機能	要件	クラス別対応		
			クラスS	クラス1	
			国際	新設	既設

5) 観客関連

観客関連	入場者待機スペース	待機スペース	収容人数の2~3割が待機できるスペース	◎	◎	○
			イベント空間として、電源等の確保	◎	◎	○
			埋込式バリカー等の導入	○	○	▲
	照明設備等		入場券売場の手元照明	◎	◎	○
			雨に濡れない屋根	◎	◎	○
			場内放送システム	○	○	▲
	観客席	座数	個席	◎	◎	○
				40,000	25,000	15,000
	エリア分割と諸機能	屋根	観客席のすべてを覆う	◎	◎	○
		エリア分割	4つの独立したセクションにより構成	◎	◎	○
			各セクションの入口、トイレ等	◎	◎	○
		飲食売店	スタジアムの各所に隔たりなく設置	◎	◎	○
			臨時売店の設置スペース	○	○	▲
		グッズ売店	各セクションに設置	◎	◎	○
		喫煙スポット	本文を参照	○	○	▲
	救護室		救護室を開催規模に合わせ、適宜配置	◎	◎	▲
		公衆電話		◎	◎	○
	場内情報提供システム	観客席への誘導システム	サイン看板	◎	◎	○
大型の壁面サイン看板の設置			○	○	▲	
総合案内所の設置			○	○	▲	
		緊急事態発生時の避難動線の明示	◎	◎	○	
	場内放送システム	場内放送システムの設置	◎	◎	○	
	大型映像装置	時間、得点を表示できるもの(A)	◎	◎	○	
		出場メンバーを表示できるもの	◎	◎	○	
身障者対	車椅子席の確保	スペース、椅子席	◎	◎	○	
	動線の確保	スロープ、トイレ	◎	◎	○	

6) ホスピタリティ関連

ホスピタリティ関連	VVIP	VVIP席	背もたれ及び肘掛のある椅子の設置	◎	◎	○
			可動間仕切り	○	○	▲
			専用のトイレの設置	◎	◎	◎
	VVIPラウンジ	VVIPラウンジ	VVIPラウンジの設置	◎	○	▲
			ダイニングルームの設置	○	○	▲
	VIP	VIP席	質の高い椅子席	◎	◎	○
			500席	50席	50席	
	VIPラウンジ	スタンディングの飲食スペース	○	○	▲	

7) 安全管理関連

完全管理関連	警備	警備本部室	スタジアム内全体を見渡せる位置	◎	◎	○
			場内監視用のモニターの設置	◎	◎	○
		警備控室・警察・消防控室	設置(A)	◎	◎	○
			観客席全体が見渡せること(B)	○	○	▲
	テレビ監視システム		スタジアムの内外に設置	○	○	▲
			録画、モニター再生、プリントアウト機能	○	○	▲
	観客	警備員の配置	訓練された警備員の配置	◎	◎	○
			下記対策と合わせて実施	○	○	▲
	防災	避難経路	消防など関係当局が定める安全基準に準拠	◎	◎	○
			十分な数の緊急避難口の設置	◎	◎	○
			サイン看板の表示	◎	◎	○
	緊急医療	医務室(一般・選手)	室数、規模、場所等は適宜	◎	◎	○
自動体外式除細動器(AED)の設置			◎	◎	○	
テロ	セキュリティチェック	手荷物検査体制	◎	◎	○	
		観客のエリア間の移動制限	◎	◎	○	
		試合関係者エリアの移動制限	◎	◎	○	

8) 照明・電力

照明・電力	照明設備	ピッチ内照明=1,500ルクス以上	◎	◎	○
	非常用電源		○	○	○

スタジアム標準

サッカースタジアムの建設・改修にあたってのガイドライン

(抜粋)

1.1 スタジアムに求められる観戦

1.1.1 快適性

観客にとって「ただサッカーの試合を観戦できればいい」といったスタジアムでは、今日の観客のニーズを満足させることはできません。観客に快適な観戦環境を提供できるように配慮することで観客の増加につながります。ピッチの臨場感を観客が得るために、ピッチと観客席が近いことが重要です。

1.1.2 適合性

②地域社会との関係

- 新スタジアムの建設が地域にもたらす利益としては、以下のように、数多く挙げられます。
- －質の高いスポーツイベントと娯楽イベントが手軽に楽しめる。
 - －施設の建設と運営にかかわる雇用が創出される。
 - －スタジアムの来場者により、店舗、レストラン、ホテルなどの利用が増え、地域経済の活性化につながる。
 - －地域住民が利用できるジム、フィットネスルーム、スイミングプール、託児所、集会所、会議室、飲食売店、文化施設、福祉施設などがスタジアム内に設置されることもある。
 - －スタジアムでのイベント開催を積極的に推進することで、地域の知名度が大幅に向上する。
 - －スタジアムとしての独自の価値と魅力的なイベント開催により、地域に誇りが生まれる。

1.3 立地条件

スタジアムを新たに建設する場合には、ニーズや将来動向を踏まえ、建設すべきスタジアムの諸機能やその規模を検討し、それに見合った建設場所を選定することから始まります。はじめから都市公園内などの場所に候補地が特定されていない場合には、スタジアムの特徴を踏まえ、広域的な条件、敷地的な条件から適地を選定することが重要です。適地選定にあたっては専門機関へ調査依頼することをお勧めします。

1.3.1 広域立地条件

スタジアムは広い面積を必要としますので、新設の場合には郊外になることが一般的です。候補地が郊外であればあるほど、公共交通機関の駅等から離れた場所であればあるほど、必要となる駐車場面積は大きくなります。こうした条件下では、主要幹線道路や高速道路への便利なアクセス経路を複数確保することが必須となります。

また、スタジアムの特性から、試合やイベントの開催時には、数万人規模の人が集中します。結果として、大きな歓声や照明の周囲への漏れ（スカイグロー）、交通渋滞など周辺地域に影響がでますので住宅地から離れた場所が適しています。

究極の理想的な立地条件とは、都市の中心部にあり、公共交通機関や主要幹線道路、高速道路からのアクセスも良好で、試合開催日以外にも使用できる駐車場が確保できる、十分な広さをもった場所だと考えられます。このような場所であれば、大規模な駐車場がありながら、年間数百時間しか利用されないといった効率性の問題も解消されます。また、国際試合の誘致を望むのであれば、ホテルや商業地区が近接し、最低1つの国際空港から快適にアクセスできなければ、試合開催者によって魅力的な候補地とはなりません。

郊外部におけるスタジアム建設の場合には、都市計画法や建築基準法、農地法、森林法、自然公園法など土地利用に対する様々な法令の網が掛かっています。関係法令の適性から候補地を絞り込む手法も適地スクリーニングの方法として適しています。

1.4 エコスタジアム

スタジアムを建設・改修する上で欠かせない観点が環境への配慮です。特に近年では、太陽光発電等の自然エネルギーの利用や、廃棄物の熱源利用等によるゼロミッションに向けた取り組みも見られます。